

## 介護給付費・基盤整備部会 意見要旨

第5回 平成23年10月26日(水) 10:30~11:30 福岡市役所1504会議室

## 第5期介護保険事業計画における特別養護老人ホームの整備量について

## (主な委員意見と事務局の回答)

- 早急に入所が必要と判断される人を要介護2から要介護3以上に変更した理由は何か。
- 特別養護老人ホーム入所対象者が常時介護を要する人であるため要介護3(中度)以上に変更した。従来の特別養護老人ホームの整備計画では主に要介護4・5の人を対象としたが、今回の変更案では、要介護3以上の人を対象としている。
  
- 要介護2以上で475人が、要介護3以上とすることで、403人になったと解してよいか。
- そのとおりである。
- 未回答者等は、要介護3以上を対象としただけで、算出方法は同じと解してよいか。
- 要介護度と関係なく試算していたが、利用申込時の要介護3以上に変更して試算している。
- 特別養護老人ホームの現場の立場として、要介護3以上の人で検討することは適当だと思う。
  
- 特別養護老人ホームの入所対象者が要介護1以上であることに変わりないか。
- 特別養護老人ホームの入所対象者の変更はない。今回整備量を算出するにあたっては、要介護3以上の人を対象としている。
  
- 今回実施したアンケート結果は、今後の市の方針を左右する貴重な資料と考えている。アンケート内容を見ると、「すぐに入所できないので早めに申し込まれた方」が49%、「入所の案内が来たが、見合わされた方」が20.7%となっており、「緊急に入所が必要な方」の人数に影響すると思う。市民の将来の不安に応えられるよう、市民への情報提供を行うことが大事である。3年後も同様のアンケートを実施してもらいたい。
- アンケートは継続して実施したい。今回は初めてだったため、試行錯誤しながら質問項目を決めた経緯がある。質問は継続して行い傾向を把握したいし、その他にも工夫したい。また、入所申込時に入所判定の方法を説明しているが、アンケートの結果、申込順と思っている人が多かったこともわかった。
- 質問項目については、この部会で事前に検討してはどうか。
- 高齢者実態調査の質問項目は、専門分科会に実施前に報告しており、今後は、このアンケートについても同様の取り扱いを行いたい。
  
- 入所申込の更新制の導入により、新たな入所申込者の実態が分かってくるのではないか。
- 申込者の実態に即した人数になると思うし、3年後のアンケート調査でもっと鮮明になると思う。
  
- アンケートについては引続き実施してもらいたい。次回のアンケートではよりよいデータが取れるよう質問項目を検討し、実施前に部会にも諮っていただきたい。
- 特別養護老人ホーム入所申込者の更新制に取り組んでいただき、入所申込者の状況がわかるようにしてもらいたいし、実態に即した特別養護老人ホーム整備につなげて欲しい。
- 市民の中には、特別養護老人ホーム等の施設の入所に関しては、申込み順等の誤解が多いため更にPRして欲しい。